No. 416

勉強法・リソース ULTIMATE CHEAT SHEET

過去問の使い方・復習法

過去問は力試しではなく「ゴールまでの地図」。いつから・何年分・どう復習するかで、同じ1年分の価値が何倍にも変わる。

Web版はこちら

ここだけ3行

1 第一志望は秋に一度解き、合格点との差を知る

2 解く時間と同じだけ、復習と分析に時間をかける

3 まちがえた問題は数日後に解き直して初めて完了

過去問でわかる3つのこと

①**形式と時間**(大問の数・設問の種類・1題あたりの時間)②求められる力(語彙レベル・英作文の有無・和訳か要約か)③今の自分との差。どれも参考書だけでは正確にはつかめない。だから過去問を「最後のお楽しみ」に取っておくのは損。

◆ いつから・何年分？(目安)

種類	いつから	何年分	メモ
共通テスト	夏に1回体験	本試・追試を数年分	試作問題や形式変更も確認
第一志望	秋(遅くとも10月)	形式が同じ範囲で5〜10年分	同じ年を時期をあけて解き直す
第二志望	11月ごろ	3〜5年分	形式に慣れることが目的
併願校	12月〜直前	1〜3年分	時間配分だけは必ず確認

◆ 1回分の過去問の使い方 6

① **本番通りに解く**
時間を計り、辞書・解説は見ない。本番の時間帯に解けるとなおよい。

② **採点して点数を記録**
大問ごとの得点と、かかった時間を記録。合格最低点や目標点と比べる。

③ **×の原因を分ける**
語彙・文法・構文・読み違い・時間切れ・ケアレスのどれかに分類する。

④ **全文を精読**
正解した問題も含め、本文を構造まで確認。根拠の文に線を引く。

⑤ **音読して仕上げ**
精読した英文を数回音読。英語を語順のまま理解する練習になる。

⑥ **数日後に解き直す**
時間を短めにして同じ問題を解く。全問正解できるまで。

◆ ミスの原因と対策

原因	よくある症状	対策
語彙	知らない語で止まる	知らない語を単語ノートへ。単語帳の周回を増やす
文法・構文	訳がめちゃくちゃになる	その文をSVOCに分解し、文法書の該当ページへ
読み違い	本文の内容と逆の選択肢を選ぶ	根拠の文と選択肢の言い換えを確認
時間切れ	最後の大問が手つかず	大問ごとの時間を決める・解く順番を変える
ケアレス	わかっていたのに×	自分のミスの型をリストにし、見直しの項目に

◆ 復習ノートの書き方 4

☐ **1 1問1行の「×リスト」**
年度・大問・問題番号、原因(語彙・構文など)、一言の教訓を1行で。長く書かない。

> It was not until he left that I realized it.
> 教訓:not until の強調構文。「〜して初めて」

☐ **2 単語は文ごと書く**
知らなかった語は、本文の短いフレーズごと書き写す。使われ方も一緒に覚えられる。

☐ **3 選択肢のワナを書く**
選んでしまった誤りの選択肢が、なぜ誤りか(本文と逆・言いすぎ・書いていない)を一言で。

☐ **4 定期的に見直す**
ノートは作ることより見直すことが目的。週に1回は読み返し、直前期は×リストだけを何度も見る。

◆ 解き直しのタイミング

忘れかけた頃に解き直すと定着しやすい(分散学習)

回	タイミング	やり方
1回目	初回	本番通りに時間を計る
2回目	数日〜1週間後	×だった問題を中心に
3回目	直前期	全問を短い時間で。できて当然の確認

◆ 過去問のやりがちな失敗 5

☐ × ~~丸つけをして点数を見て終わり~~
○ **原因を分類して精読・解き直し**
点数より「なぜ落としたか」が次につながる。

☐ × ~~解説を読んで「わかった」で終わる~~
○ **数日後に自力で解き直す**
わかる≠解ける。自力で解けて完了。

☐ × ~~形式が違う古い年度を大量に解く~~
○ **今と同じ形式の年度を優先**
形式が変わると時間配分も解き方も変わる。

☐ ✕ ~~時間を計らずに解く~~
○ 本番の制限時間で解く
時間内に解けなければ本番の点にならない。

☐ ✕ ~~点数が悪くて落ち込んで止まる~~
○ 差がわかったことを収穫と考える
秋の点数は合否ではない。直前期までの伸びしろ。

形式の変化に注意

大学は出題形式を変えることがある。**最新年度の形式と、大学の公式サイトの入試情報（出題の変更予告）**を必ず確認してから、どの年度を中心に解くか決める。

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳（PDF印刷）・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。

原田英語.com

ほかのチートシート
（全439本・無料）